

《史料研究》

## 1970年サンフランシスコにおける日系アメリカ人史学習の教材開発（3）

田中 泉

<構成>

1. はじめに
2. 時代背景
  - (1) エスニック多元主義
  - (2) 戦後の日系アメリカ人社会
3. 4つの教材
  - (1) 教材A
  - (2) 教材B
  - (3) 教材C …（以上、前号掲載済）
  - (4) **教材D** …（**パートI、本号掲載、パートII以下、次号掲載予定**）
4. 分析
5. おわりに

### （4）教材D

教材Dは、移民開始期から現代までの日本人移民と日系アメリカ人の歴史を、7つのトピックに分け、教師と生徒がディスカッションをしながら学習するものであり、2つのパートで構成されている。パートIは、その導入やトピックのまとめを行うための活動（Activity）と、ディスカッションのための話題提供のテーマからなっている。パートIIは、ディスカッションを行うために生徒に読ませる補助資料（Background Information）である。

【テキスト】

#### パートI－1：活動

##### 活動1：映画視聴（導入）

- ・概念：言葉は、移民にとって、恐ろしいほどの障害になる。それは、コミュニケーションにおいて問題を生じさせるだけでなく、ときには、双方に猜疑心も生じさせる。

- ・活動：字幕なしで外国語の映画を 15 分間ほど見る。
  - a) スペイン語の映画だと、ふだんは有利なことが少ないヒスパニックの生徒が、それを楽しむ機会を与えることができそうだという点で、好ましい選択である。
  - b) フランス語の映画も、同じように好ましい。
  - c) もし映画を入手するのが難しければ、外国語の録音を使おう。
- ・目的：生徒たちが、ことばの障害について敏感になるように、障害にぶつかる経験をさせる。
- ・振り返り：生徒たちがその映画を理解するのにどのように感じたか話し合う。移民が初めてアメリカ合衆国に来た時どのように感じるはずか理解できるかどうかを話し合うようにしむける。

## 活動2：クイズ（導入）

- ・概念：生徒たちを、感情を込めて参加するような活動に引き付けるように、興味や関心を高める。
- ・活動：生徒たちにクイズを配り、正答も誤答もないこと、また成績をつけるわけではないことを保証する。

回答用紙を回収する。

下のサンプルの表を見てクラスの回答を表にする。生徒たちにできた表を写させる。

生徒があげたコメントと質問についての議論をまとめる。

教師たちが考慮すべき疑問：この結果は、クラスの民族構成を反映しているか？なぜそうなのかあるいはそうでないのか？

### ・表の例

1. ブラジル人 20, 5, 7, 1, 3, 15, 4, 9, 18, 14, 6, 8, 15, 10, 3, 7, 11, 9 合計 165
2. 中国人 8, 1, 9, 8, 2, 20, 3, 5, 15, 6, 4, 3, 19, 12, 1, 9, 16, 3 合計 157
3. エジプト人 . . .

(注：最も小さい数字のグループが、もっとも好ましいグループであることを表している。)

## クイズ

このクイズは成績には関係しません。名前を書かないようにしてください。正答も誤答もありません。この質問は自分の考えを表す質問です。

1. アメリカ合衆国への移民として、あなたは、以下のどの民族が好ましいですか？ 好む順に、1 から 20 まで順位を付けてください。

ブラジル人  
中国人  
エジプト人  
イングランド人  
フィリピン人  
ドイツ人  
グアテマラ人  
イラン人  
アイルランド人  
イスラエル人  
イタリア人  
日本人  
レバノン人  
メキシコ人  
黒人  
ノルウェー人  
ロシア人  
シリア人  
タイ人  
ヴェトナム人

2. あなたは、このリストの中でどのグループの移民をまったく認めないか？
3. あなたは、なぜそれらのグループを排除しますか？ 以下の理由に該当するものがありますか？ 該当するものに丸をしてください。
  - a. かれらは、教育を受けていない。
  - b. かれらは、英語を話さない。
  - c. かれらの大部分が未熟練労働者である。
  - d. かれらは、概して貧しい。
  - e. その他の理由

### 活動3：連想

(パートⅡ-4「公共における偏見の表現」の前に行う)

- ・概念：人びとは、概して、ある程度の知識によって、それぞれのグループについて、特定の性格を連想する。
- ・活動：生徒たちに、教師が「日本人」という言葉を伝え、一分間ほど、心に浮かぶ考えを書かせる。 回答用紙に名前は書かせなくてよい。  
回答用紙を回収し、回答を黒板に書く。  
ステレオタイプを表す考えについて話し合う。
- ・目的：生徒たちに、民族的少数グループとしての日本人についての認識を自由に表現する機会を与える。

### 活動4：公共のメディアの分析

(パートⅡ-4「公共における偏見の表現」のまとめとして行う)

- ・概念：公共のメディアは、意図するしないにかかわらず、偏見や差別を流布することになってしまう可能性がある。
- ・活動：1) 生徒たちに、「マッケイルズ・ネイヴィ (McHale's Navy)」のようなテレビ番組を分析させる (1)。  
2) 生徒たちに、戦争映画の再放送を見て評価する為に、テレビガイドを調べさせる。  
3) 生徒たちに、パートⅡ-4で記されている4つの反日系人の書籍を読ませ、書いたり述べたりする形で分析をさせる。  
4) 生徒たちに、1つの民族グループに対してひいきする様な論調や偏見のある見方をした新聞や雑誌の記事や一文を切り抜きさせる。  
5) 生徒たちに、どの組織が特定の民族グループを排除する条項をいまだに有しているかを調べさせる。エルクス・クラブ(Elks Club)は、その1つである (2)。
- ・目的：生徒たちに、獲得した技能や情報を、他の領域についての個人的な調査に応用する機会を与える。

### 活動5：グラフの解釈

(パートⅡ－5「法的抑圧の意味」の「紳士協定」部分のまとめとして行う)

- ・概念：今世紀のはじめの数十年における性別比率は、日本人移民の一時的な滞在の特質を示している。
- ・活動：クラスに人口統計のコピーを配るか、プロジェクターで見せる。  
このグラフから読み取れうる情報について議論する。  
性別比率の変化の重要性について議論する。
- ・目的：生徒たちに、調査技能を開発する機会を与える。

### 活動6：数字の解釈

(パートⅡ－7「今日の移民風景」のまとめとして行う)

- ・概念：合衆国以外のほかの国々は、経済的機会を提供できる。
- ・活動：生徒たちに現代の移民の数字を解釈させ、その数字の重要性を指摘させる。
- ・目的：生徒たちに、調査技能を開発する機会を与える。

## パート I - 2 : 話し合いのトピック

### 1 : イントロダクション

1. なぜ日系アメリカ人は、教育における最も高い到達レベルに達しているにもかかわらず、アメリカの会社において最高経営責任者や、経営方針決定の地位にいないのか？
2. アメリカ人の生活に同化しているとみなすのは、一世、二世、三世の3つの世代のうちどれだと思うか？ また、それはなぜ？

### 2 : 移民する理由

1. 最初から短期間滞在して戻ることを計画していた移民グループは、日本人だけだったのか？
2. 政府は、どんな方法で、外国に住む市民の権利を守るか？

### 3 : 反日本人運動の理由

1. 誤って導かれた愛国主義とは？ それは、アメリカにおける日本人の体験の中で、どんな事例があるか？ ほかのケースでは？
2. もし合衆国が中国本土に対して戦争を仕掛けたとして、あなたは中国系アメリカ人をどのように見るだろうか？

### 4 : 公共における偏見の表現

1. 差別される人の自己像に対してなされる差別とはどんなものか？ このことが日系アメリカ人に対して起こったのか？
2. あなた自身のグループと他のグループを尊重するような博識の人物になりえる方法とはどんなものか？

### 5 : 法的抑圧の意味

1. すべての外国人住民を満足させる権利とはどんなものか？ また、それはなぜ？
2. 敵対的で抑圧的な法律があるにも関わらず、日本人はなぜここに住み続けるのか？

### 6 : 正義を求めての法廷闘争

1. 平等な扱いを求める日本人の努力の意義は何か？
2. 今日、あなたを変えたい抑圧的な法律とは何か？

### 7 : 今日の移民風景

1. 今日、日系アメリカ人はどのように評価されているか？
2. 日本の強勢と日系アメリカ人に対する偏見の表現との間にはどんな類似点があるか？

## 注

- (1) マッケイルズ・ネイヴィ (McHale's Navy) は、1962年10月から1966年8月まで、アメリカのABCネットワークで、138回(1回30分)にわたって放送されたテレビドラマである。いわゆる、シットコム形式のコメディである。舞台となっていたのは、第二次世界大戦中の太平洋戦線で、タラチュパ (Taratupa) という架空の島に配置された、アメリカ海軍の魚雷艇 (Patrol Torpedo) 第73号である。この魚雷艇に、名優アーネスト=ボーグナイン (Ernest Borgnine) が演じる艇長マッケイル少佐と、彼が率いる十数人の将兵が乗り組んでいるという設定である。彼らは、個性あふれる人々で、魚雷艇の上や島の中で巻き起こされるさまざまな騒動がコメディとして演じられる。その将兵に交じって、一人の日本軍の捕虜が登場するのだが、問題はその扱い方なのである。彼の名は、フジ=コビヤジ (Fuji Kobijaji) で、ヨシオ=ヨダ (漢字不明) という俳優が演じていて、コックとしての役割を担わされているが、雑用もこなす召使的な扱いである。日本人捕虜フジの存在は、司令部には隠されていて、便利な人間としてずっとこの艇に残されているのである。筆者の同僚で、このドラマを見たことのあるアメリカ人の英語教員の話によれば、このフジは、常にからかいの対象となる存在で、差別的な取り扱いを受けていたとのことである。なお、この番組が放映されていた時期の前半は、J.F.ケネディが大統領 (在任1961~63年) であったが、第二次世界大戦中に海軍に従軍し魚雷艇第109号の艇長として太平洋戦線で挙げた戦功によって名を高め、政治家としての昇進を早めたことは有名であり、このドラマが人気を博した理由の一つでもあったとされる。
- (2) エルクス・クラブ (Elks Club) は、正式には Benevolent and Protective Order of Elks といい、慈善・援護的な目的をもつ、いわゆる社交クラブの一つである。1868年にニューヨークで設立され、シカゴ近郊のリンカンパーク (Lincoln Park) に本部を置き、全米の約210都市に支部を持っている。こうした社交クラブの常として、当初は、会員になるためにはさまざまな規制があり、差別が公然と行われていたと考えられる。有色人種に門戸が開かれたのは1970年代、女性に門戸が開かれたのは1990年代である。